

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第 8 条第 1 項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 武義高等学校 学校運営協議会 (第 2 回)
- 2 開催日時 令和 5 年 11 月 10 日 (金) 書面開催
- 3 参加者

会 長	有川 一	中部学院大学 教授
副会長	中島 千春	本校 P T A 会長
委 員	辻 晃一	丸重製紙企業組合 理事長
	成瀬 孝子	美濃市社会福祉協議会 常務理事事務局長
	宮西 恵	本校 P T A 監事
学 校 側	加藤 信男	校長
	植田 美智留	教頭
	大野 英悟	事務長
	牧村 修	教務部長
	生駒 伸一	進路指導部長
	各務 憲之	生徒指導部長
	小澤 奈津子	特活指導部長
	原 美潮	商業部長
	吉川 敏幸	地域連携委員会総括

5 資料の概要 (協議事項)

(1) 学校長挨拶

(2) 議題

- ① 令和 5 年度学校評価アンケートについて
- ② 教務部 (令和 6 年度教育課程改訂・タブレット修繕)
- ③ 進路指導部 (令和 5 年度前期進路状況)
- ④ 生徒指導部 (令和 5 年度前期生徒指導状況)
- ⑤ 特活指導部 (令和 5 年度前期部活動報告・武義高ニュース)
- ⑥ 商業部 (「学びとビジネス架け橋プロジェクト」ご紹介)
- ⑦ 地域連携委員会 (令和 5 年度前期活動報告)

(3) 意見交換

令和 5 年度学校評価アンケートについて

意見 1 : 生徒対象では、「27 生徒会活動」がやや気になります。生徒に時間がないということが最も大きな要因だと思われ  
ますが、大きな行事だけに限定してでも、生徒たちが「自主的にやっつるぞ」と感じることができる活動ができればと思います。特に  
「小さな失敗」をさせることが後々役に立つと思います。

### 別紙様式 3

保護者対象では、「家庭との連携」、「個別対応」、「ボランティア活動」が気になります。保護者に「武義高校のファン」になってもらうことができれば様々な活動が実施しやすくなると思われます。「ファンサービス」のような観点で情報発信ができればいいのではないかと考えています。「個別対応」については、時間と労力を要する部分ですので最も困難であり、かつ成果があがりにくい（周りから見えにくいため評価されにくい）部分だと思います。この評価に負けずにコツコツと継続していただければと思います。「ボランティア活動」については、実は私は無償で行う活動に否定的な考えを持っており、有償のボランティア活動があってもいいと考えています。「ちょっとしたアルバイト代」のような有形のものでもいいですし、「ものすごく感謝される」という無形のものでもいいですので、募集段階で何か少しの見返りがあることを伝えると参加者が集まりやすくなります。こんな観点で活動を組み立てていただくと、広がっていくのではないかと思います。

**意見 2**：生徒達は、学校に対して高評価で、生徒会活動は控えめであると感じているようです。保護者は、小・中学校と比べて学校の様子を知る機会や教職員との関わる機会が少ないため、学習面や学校との連携に不安を持つ保護者がいることがうかがえます。しかし、生徒も保護者も、おおむね学校について高評価であり、教職員の皆さんのご尽力のお陰と感謝しています。

**意見 3**：生徒のボランティア活動に感謝しています。アンケート結果から生徒は、「大切さを教える。その機会の提供している」が7割以上が「あてはまる」となっているが、保護者側は、「わからない」が約4割となっていて、残念に思います。

**意見 4**：アンケートの結果から、保護者の方はボランティア活動の参加を望んでいることがわかりました。先日、友人が営む認知症カフェに、武義高校の生徒さんにも参加してほしいと相談され、特活部の先生にご対応いただきました。ありがとうございました。美濃市地域包括支援センターの方からも、武義高校の生徒さんに見てほしい映画があると相談されました。認知症カフェにお手伝いで参加する以外にも、ボランティアとしてできることは様々あるようですので、そのようなことも選択肢に加えていただけたらなと思います。今後の進路選択にとっても助けとなると考えています。

### 教務部（令和6年度教育課程改訂・タブレット修繕）

**意見 1**：タブレット端末の修繕に関しては、他校でも悩みの種です。PTA費で保険加入されたのは良いと思いますし、また、破損状況（実数）についてもある程度妥当なものだと思います。大切に扱うことを指導しながら継続して下さい。

**意見 2**：令和6年度教育課程改訂により単位数を減じることとなるため、生徒が放課後に選択できる活動（部活動、補習、生徒会活動等）が、より充実したものになることを期待します。

### 進路指導部（令和5年度前期進路状況）

**意見 1**：就職希望者の全員内定とのこと、教職員の皆さんのご尽力に感謝いたします。自習室が年間通して利用できるようになりありがたく思います。

**意見 2**：進学につきまして、ぜひ先生方には手厚い対応をお願いしたいです。塾に行っている子、行っていない子、早めに進路が決まる子、最後まで続ける子、さまざまですが、学校で細やかなサポートをしていただけることを何より望んでいます。他の進学校のように何百人と進学希望の子がいるわけではないと思うので、それぞれの生徒に寄り添ってあげてほしいなと思います。

**意見 3**：就職や進学は高校生にとって最も大きな取り組みになりますので、ぜひとも継続して頑張っていたきたいです。ただ、目の前のことだけに捉われず、「人生全体を考えて、どのようなことをやりながら生きていきたいか」というイメージを持つことが大切ですので、この点の指導も継続していただきたいです。

### 生徒指導部（令和5年度前期生徒指導状況）

**意見 1**：資料の冒頭にありますが、一般的に高校生には思慮に欠ける判断や浅薄な言動がみられますので、「コミュニケーション能力」を養うことが重要だと思います。武義高校はふんわりとした雰囲気の一つの特徴だと思っていますので、優しく関わり合

うことでさらに高めていただければと思っています。

**意見 2** : 学習面や進路面だけでなく、生徒への精神面への支援も感謝しています。個々の生徒で状況や捉え方も異なるなか、対応も複雑になってきますが、専門家へ繋げることで、教職員の負担を軽減できるのではないかと思います。

**意見 3** : 交通事故件数が、5 件あったとのことですので、引き続きの注意喚起をお願いします。（特に暗くなってから自転車の帰宅について心配しております。）

**意見 4** : 武義高校はスマホ利用には厳しいルールがあると認識しています。普段の生活では、メリハリが付き悪いことではないと私は思っています。（略）せめて行事の時くらいは、スマホを使わせてやってほしいです。一部のルールを守らなかった子のせいで厳しくなったと聞きました。でも、高校生活は短いのです。コロナで色々な行事が削られてきた子たちです。スマホのカメラ利用だけでも認めてほしいです。

先日、夕方に学校の校門から信号の方に向かって車を走らせていて気づいたことがあります。みんな、歩きスマホでした。横断歩道を渡る時もゆっくり歩きながらスマホを見ているので、信号が青になってもなかなか車は右折できませんでした。校門の外には生徒がたくさん集まって歩道をふさいでいました。（略）送迎の連絡をしたかったり、予定を確認したかったり、勉強のアプリもあります。スマホを開く理由はさまざまですが、これは校内でははいけませんか？寒い時間に外にさせるとかわいそうですし、交通ルールの的にも危険、どんな人が無防備な生徒たちをどこから見ているかわかりません。もちろん、歩きスマホはいけないことです。でも学校が決めたスマホのルールが、歩きスマホを助長してしまっていると感じました。今は、スマホなしには生活しにくいですし、暮らしに必要なものです。ルールはもちろん守った上で、生徒や地域の方たちの安全のためにも、放課後のスマホ利用についてはルールを緩和していただけませんか。例えば、放課後だけは校内でもスマホを使えるとか…ゲームや SNS へのアップロードはダメかもしれませんが、せめて連絡、メモ、カメラ、調べものくらいはさせてもらえないでしょうか。検討していただけると幸いです。

### 特活指導部（令和 5 年度前期部活動報告・武義高ニュース）

**意見 1** : 文化祭やバレーボール大会、とても良いと思います。こういった大きなイベントが生徒には必要ですので、今後もよろしくをお願いします。特に、内容の大小にかかわらず企画・運営に関わった生徒は大きな学びを得たと思います。今後の活躍に期待したいと思います。

**意見 2** : 特別活動によって得られる体験は、失敗も成功も、生徒にとって生涯にわたる思い出になり得ます。文化祭、バレーボール大会の開催に当たっては、事故やケガなど注意を払う必要があり心労を伴いますが、これらの行事への生徒の満足度は高く、教職員の皆さんには大変感謝しております。

### 商業部（「学びとビジネス架け橋プロジェクト」ご紹介）

**意見 1** : 「学びとビジネス架け橋プロジェクト」は素晴らしいと思います。高校側にもメリットがありますが、企業側にも大きなメリットがある win-win の活動ですので、ぜひとも継続していただきたいと思います。企業同士の紹介という形でも広がっていくと思いますので、期待しています。

**意見 2** : 第一回の学校運営協議会で「学びとビジネス架け橋プロジェクト」のお話を伺い、武義高校の魅力を上げる素晴らしいプロジェクトだと関心を持っていました。今回、具体的な資料を拝見し、地元の企業や専門家と連携したこのようなプロジェクトが実現すれば、武義高校の目玉となるとさらに期待を持ちました。企業側にメリットがあるだけでなく、まだ社会や自身の将来への関心が薄い生徒側にとっても、今学校で学んでいることの意味を知り、現実の社会のイメージを知り、将来の夢を持つ助けとなると思っています。このプロジェクトを推進する商業部のこれまでのご尽力に感謝し、支持したいと思います。

**意見 3** : 以前より「普通科」という言葉に違和感があり、「普通人」ではこれからの社会で通用しないように感じるので、この後は学校方針に合った科の名前になる事を望みます。一方で、「ビジネス情報科」という改名は評価できるし、もっとクラス数を増

やしてもいいのではないかと、よりビジネスの実践に向けて、プログラミング授業を実践向けにブラッシュアップすると良い（すでにタイムカプセル社との連携は始まっている）。生徒を中心に株式会社を設立する事も行ってほしい（例：県岐商の(株)GIFUSHO）。その会社を中心にして、授業や活動だけでなく地域社会課題の解決を実践してほしい。具体的には、古民家の利活用、農業の実践による農作物や加工品の販売、耕作放棄地の利活用、子ども食堂や宅配弁当、買い物難民地域への移動販売、など。外部講師を招いて、ビジネスや金融などの授業を実施など。わざわざ遠くからでも通わせたい、通いたくなるような学校を目指してほしい。その他にも「普通」ではない取り組みを創造してほしい。

### 地域連携委員会（令和5年度前期活動報告）

意見1：直接地域と関わる大切な活動をされていると思います。こういった活動は「実行力（行動する力、形にする力）」がなければできませんし、この力がないと社会で活躍できません。この力を身につけるために最も重要な部分を担っていますので、ぜひとも今後も頑張ってくださいと思います。私もこの部分には最も力を入れています。

意見2：さまざまな地元の団体と連携していくことで、地域について学び、地域を大事に思う心を育てます。生徒達が、自分を知り、自分の進路を考える機会となるよう、上級学校のオープンキャンパスやボランティア活動への参加など、校外活動の機会を生徒たちに自ら活用してほしいと思います。

#### （4） 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、委員の過半数の参加が叶わなかったため書面開催とした。各分掌の前期活動について、委員の皆様から非常に丁寧な、かつ示唆に富むご意見を頂くことができた。これらの貴重なご意見は早速当該分掌にて検討し、今年度後期または次年度の学校経営計画に反映させるとともに、今後も開かれた学校作りに努めたい。